

*****2007年10月期开课的日语学习课程开始招生！*****

にほんごがくしゅうかてい ねんど がつき ほしゅう
日本語学習課程2007年度10月期募集!

1. 远距离（远程）课学员情况

现在报名参加远距离课学习的学员，在全国47个都道府县中已经遍布了46个都道府县（截止到7月末）。而且报名的人数还在增加，今后，作为一项新型制度由各地方政府4月开始实施推行的“地区生活支援计划”的影响，预计远距离课程的学员将会增多。这是一个无论在哪儿都能学到日语的良好机会，因此我们希望远距离课程，能为各位归国者提供帮助。



（接下页）

1. 遠隔課程受講者の状況

現在、遠隔課程の受講者は、47都道府県中46都道府県に満遍なく在籍しています（7月末現在）。受講者数も増加中で、今後も、4月からの新制度として各自治体で実施されている「地域生活支援プログラム」により、遠隔課程の利用者は増えていくのではないかと思います。日本のどこにいても利用できる日本語学習の機会として、遠隔課程が帰国者の方々に有効利用されればと願っています。

（次頁に続く）

(接前頁)

2. 現在開設の課程情况

現在、面向中国帰国者所開設の遠距離課程共有 18 門学科；面向库页島帰国者所開設の遠距離課程共有 6 門学科。在这些課程中，最受欢迎的仍然是“医疗学科”，其次是“入门日语语法句型系列”及“消费生活学科”和“慢慢学习汉字学科”。此次报名参加“医疗学科”的学员，将从今年 12 月起开始学习（截止到 7 月 10 日）。

3. 计划在 10 月期开讲的新学科

10 月开始的学期（2007 年 10 月～2008 年 3 月）将有两门新学科计划开讲。“汉语拼音学科”将于前半学期开讲；“自我表达作文学科（1）（暂名）”将于后半学期开讲。

① “汉语拼音学科”

这是一门主要以 60 岁以上，没有学过汉语拼音的帰国者为对象，讲解汉语拼音标注方法及基础知识的学科。本课程将借助简单的讲解、有声教材及练习题，帮助学习者掌握如何用拼音查阅词典以及如何用电脑打汉字等所需要的最基本的知识。想要报名学习的人，我们认为如果认识 26 个英文字母（a b c…）的话，学起来则会轻松一些。

ぜん
(前頁より)

2. 現在の開講コースの状況

現在、遠隔課程は中国帰国者向けに 18 コース、サハリン帰国者向けには 6 コース開講しています。やはり、一番人気の高いコースは「医療コース」ですが、それに続き「入門日本語文法句型シリーズ」や「消費生活コース」「漢字ゆっくりコース」なども人気があります。「医療コース」に関しては、今、お申し込みになられた方は、今年の 12 月受講開始となります(7 月 10 日現在)。

3. 10 月期に開講予定の新コース

10 月期内(2007 年 10 月～2008 年 3 月)に新たに次の 2 コースを開講する予定です。「中国語ピンイン学習コース」は 10 月期の前半スタート、「自己表現作文コース(1)」（仮称）は、期の後半スタートを予定しています。

① 「中国語ピンイン学習コース」

主に 60 代以上の方で、中国でピンイン学習ができなかった方を対象に中国語のピンイン表記法の基礎知識を学ぶコースです。ピンインで辞書を引いたり、パソコン入力をしたりするために必要最低限の知識を、簡単な解説や音声教材、練習問題を通して学びます。受講される場合、アルファベット表記(a b c…)に馴染みのある方のほうが抵抗なく受講できると思います。



② “自我表达作文学科（1）（暂名）”

这是帮助归国者通过作文的形式，表达其从回到日本之日起，一直到现在的在日生活、工作、日语学习等各种感想；或是从中国的生活中所感悟到的想借助文字传达给他人的一门学科。

本学科并非系统地学习掌握一般写作所必需的语法、句型，而是选择多数归国者所经历、体验过的、有关中国或日本生活主题，并大量阅读围绕这些主题所写的范文，从而帮助学习者从中选择表达自己思想所需要的词汇、语句，并运用这些词汇、语句来组织、写作自我表达方面的必要段落。之后练习进行文章的整体构思，从而达到围绕某个主题，完成将自己写出来这一目的。此学科计划通过系列的形式进行，第一次写作练习的主题为《学习日语》。

另外，报名参加本学科的学习，需要拥有与修完“续・入门日语语法・句型学科A”（被动句、使役句、推量、敬语等）相等的日语水平。

有关以上两门学科的具体报名条件，敬请参阅“招生要点”。



② 「自己表現作文コース(1)」(仮称)

このコースは、帰国者が日本に帰国してから今まで、日本での生活・仕事・日本語学習等について感じたこと、また中国での生活等の中から、日本に来てから伝えたいと思っていたことを作文という形で表現していくコースです。

このコースは、一般的な作文力を付けるために必要な文法、句型などを系統立てて学んでいくものではありません。帰国者の多くの方が体験した中国や日本での生活に関する話題を選び、その話題を基にしたモデル作文をたくさん読むことを通して、自分が伝えたいことを表現するのに必要な語彙、表現をその中から選び取り、作文に必要なパーツを作っていきます。そして、全体の構想を練りながら、最終的に、一つのテーマで自分のことに関する作文を完成させることを目標としています。このコースはシリーズ化される予定ですが、一回目のテーマは、「日本語学習」です。

なお、本コースを受講するには「続・入門日本語文法句型コースA」（受け身形、使役形、推量、敬語等）修了レベルの日本語力が必要です。

以上、2コースの受講条件等詳細は、「募集要項」をご覧ください。